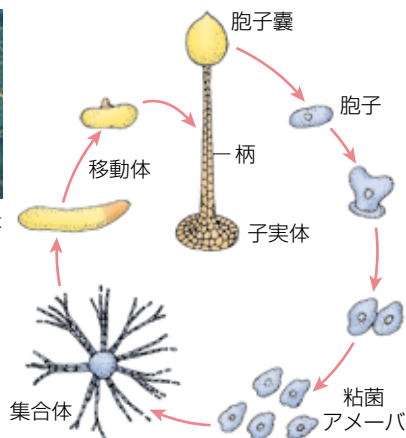


▲図71 モジホコリの子実体(左)と変形体(子実体は高さ約2mm)

子実体とよばれる^{***}胞子をつくる構造ができる。変形菌類はかつては菌界に分類されていたが、近年の研究で、アメーバなどに近縁だとされている。



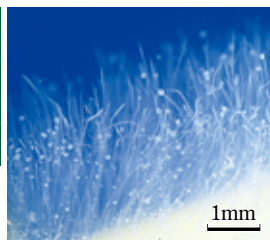
▲図72 キイロタマホコリカビ(細胞性粘菌)の生活環

●卵菌類● 水中で生活するミズカビ

(図73)や、陸上で生活するツユカビなどが含まれる。多くは多核の菌糸体をつくり、細胞壁にセルロースを含む。主に遊走子という水中を遊泳する生殖細胞を形成して繁殖する。遊走子には2本のべん毛がある。このべん



▲図73 卵菌類 メダカの遺体についたミズカビ(上)とその拡大写真(右)



毛の形や細胞壁の成分、DNAの塩基配列の比較などから、藻類のケイ藻類や褐藻類に近縁だと推定されている。

●藻類● 藻類は、植物を除く酸素発生型光合成を行う独立栄養生物であり、ほとんどが水中で生活する。単細胞体から多細胞体まであり、分裂あるいは胞子による無性生殖を行うもの、有性生殖を行うもの、両方の

▼表3 藻類の主要な光合成色素の比較

	紅藻類	ケイ藻類	褐藻類	緑藻類	シャジ藻類
クロロフィルa	○	○	○	○	○
クロロフィルb				○	○
クロロフィルc		○	○		
フィコビルン	○				

*** 胞子は植物や菌類、原生生物などで見られる生殖細胞で、単独で発芽して新個体となる。胞子には、アオカビのように体細胞分裂でつくられるものと、ムラサキホコリのように減数分裂によってつくられるものがある。